

第 2 2 回宇宙開発委員会（定例会議）
議 事 次 第

1. 日 時 平成 7 年 9 月 2 7 日（水）
1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
(2) 第 2 次国際微小重力実験室(IML-2)搭載実験に係る開発結果の評価及び H - II ロケット試験機 3 号機による静止気象衛星 5 号(GMS-5)の打上げ結果の評価について
(3) J - I ロケット試験機 1 号機による極超音速飛行実験(HYFLEX)に係る安全の確保に関する調査審議について
4. 資 料 委 22 - 1 第 21 回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委 22 - 2 - 1 第 2 次国際微小重力実験室(IML-2)搭載実験に係る開発結果の評価及び H - II ロケット試験機 3 号機による静止気象衛星 5 号(GMS-5)の打上げ結果の評価について（宇宙開発委員会技術評価部会報告書概要）
委 22 - 2 - 2 第 2 次国際微小重力実験室(IML-2)搭載実験に係る開発結果の評価及び H - II ロケット試験機 3 号機による静止気象衛星 5 号(GMS-5)の打上げ結果の評価について（報告）（案）
委 22 - 3 J - I ロケット試験機 1 号機による極超音速飛行実験(HYFLEX)に係る安全の確保に関する調査審議について（案）

第21回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）

1. 日時 平成7年9月13日（水）
14:00～14:10
2. 場所 委員会会議室
3. 議題 (1) 前回議事要旨の確認について
(2) 宇宙保険問題等懇談会の廃止について
4. 資料 委21-1 第20回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委21-2 宇宙保険問題等懇談会の廃止について（案）

5. 出席者
宇宙開発委員会委員長代理 野 村 民 也
宇宙開発委員会委員 山 口 開 生
" 末 松 安 晴
" 長 柄 喜一郎

関係省庁
文部大臣官房審議官（学術国際局担当） 長谷川 正 明（代理）
郵政大臣官房技術総括審議官 岡 井 元 "

事務局
科学技術庁研究開発局宇宙企画課長 林 幸 秀
他

6. 議事
(1) 前回議事要旨の確認について
第20回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（資料委21-1）が確認された。
(2) 宇宙保険問題等懇談会の廃止について
事務局より、資料委21-2に基づき説明があり、原案どおり決定された。

Ｊ－１ロケット試験機１号機による極超音速飛行実験（ＨＹＦＬＥＸ）に係る安全の確保に関する調査審議について（案）

平成 7 年 9 月 27 日

宇宙開発委員会決定

1. 調査審議の趣旨

（１）平成 7 年度冬期には、Ｊ－１ロケット試験機 1 号機による極超音速飛行実験（ＨＹＦＬＥＸ）が予定されており、これに係る安全を確保する必要がある。

（２）このため、平成 6 年 6 月に策定した「ロケットによる人工衛星等の打上げに係る安全評価のための基本指針」（以下「基本指針」という）に基づき、所用の調査審議を行うものとする。

2. 調査審議事項

Ｊ－１ロケット試験機 1 号機による極超音速飛行実験（ＨＹＦＬＥＸ）に係る以下の安全対策についての基本指針に基づく妥当性

- ① 地上安全
- ② 飛行安全
- ③ 安全管理体制

3. 調査審議は、安全評価部会において行うこととし、平成 7 年 11 月上旬までに終えることを目途とする。

4. 安全評価部会の構成

別紙のとおりとする。

(別紙)

宇宙開発委員会安全評価部会構成員

(部会長)

吉田 忠雄 法政大学工学部教授

(部会長代理)

長洲 秀夫 元科学技術庁航空宇宙技術研究所長

(専門委員)

井口 雅一 (財)日本自動車研究所長、東京大学名誉教授

岩崎 民子 (財)放射線影響協会研究参与

内田 國昭 郵政省通信総合研究所宇宙通信部長

河村 光隆 通商産業省工業技術院物質工学工業技術研究所
統括研究調査官

栗林 忠男 慶応義塾常任理事・同大学法学部教授

小林 繁夫 東京大学名誉教授

近藤 恭平 東京大学工学部教授

坂田 八昭 (社)日本遊技関連事業協会顧問

塩見 弘 中央大学理工学部教授

長谷川和俊 消防庁消防研究所第二研究部長

雛田 元紀 文部省宇宙科学研究所教授

村山 英敏 (＊) 宇宙開発事業団理事

谷島 一嘉 日本大学医学部教授

山中 龍夫 横浜国立大学工学部教授

(＊) 印の専門委員は、今回の調査審議については説明者として参加。